

申辯書

民國三十六年一月十五日

南京戰犯拘留所

被告

國防部軍事法庭
庭長石美瑜閣下

被告ハ民國三十六年八月中旬以降約五月間第六師團
 長^{十三}于地克及中支廣大長延^{ハル}地区ニ行動シタルモ其
 期間專ラ作戰ニ從事^シ起訴書ニ提示セラレタル保定及
 石家庄ニ向^ス前進間ニ於^{ケル}掠奪^ス婦女^ノ肉體提供事
 項及ヒ南京駐留^シ期間内ニ於^{ケル}多數ノ殺人強姦財產
 破壞事項ヲ被告ノ部下ノ行爲^{ナリト}スノ論告ハ本申
 辯書ニ以下陳述スル各種ノ理由ニ依リ被告ノ絶對ニ認
 ムル能ハセ^ル所ナリ。被告ハ此等ノ暴行アリニラ見^タコトモ聽^キ
 タルコトモナク又日認日許セ^シテ下モナク況^ニマ命令ヲ下セ^シコトモ

セサルコト明瞭ナリ又南京ニ於テ中島部隊ト共ニ南京
大屠殺ヲ發動セリト論セラレアルモ被告ノ聞知スル所ニテ
ハ南京大屠殺ハ中島部隊ノ屬セル南京攻略軍ノ主
カ方面ノ出来事ニミテ其被害者ニ対シテハ眞實ノ
毒ノ至リタルモ軍方面ノ關係ナキ事項ニテ即チ被
告ノ部隊ニ關係ナキ事項ナリ又從テ中島部隊ト
共同ニテ暴行スルカ如キハ有リ得サル事ナリ 被告ニ
對スル審判ニ於テハ何卒先ツ右根本的事項ヲ確認セラ
レ度尚詳細ハ以下申辨スル所ヨリ判定煩ハシ度ニ
第地支ニ於ケル掠奪婦女暴行事項ノ申辨
起訴書ニ保定石家庄ヘノ前進途上
ニ掠奪ヲ行ヒ又中國婦女ヲ強迫シ肉体的慰安ノ具ニ
供シタル如ク提示セラレアルモ被告ハ全ク此両件ヲ見聞
セシトナク目認目許セシコトモナシ況ンヤ命令ヲ下シ又ハ

等ノ起リ得ル實ホニ非ス若シ
氏ニ斯カル被害

アリトセハ當時加害部隊長ニ陳情ヲ具申スヘキナリ萬

一此處置ヲ為シ得ヤル情況ナリセハ今日ト雖其事事實ニ

誤マリナクハ其加害部隊ヲ明示スルコト不可能ナルニ於テ

モ日本政府ハ當然其損害ヲ賠償スヘキヨリ其手續

キヲ採ラレタシ又女子肉體提供ノ慰安所設置直ニ

関ス事項ハ訊問ノ際未ダ一回モ之ヲ聴キタルコトナク

殊ニ起訴書理由ノ部中被告が辩解ニテ上官ト

談合ノ上慰安婦人ヲ募集シ婦人ノ同意ヲ得テ設立

シタル如ク答辯セシトノ事ナルモ斯カルコトヲ聴キタルコトモ述ベ

タルコトモナク全ク事實無根ナリ婦女ヲ慰安ノ具ニ供スル

如キハ眞ニ被告ノ夢想タモセザル所ニシテ況ンヤ迅速ナル作戦

行動中被告ノ部隊ノナシ得可カラサル所ニシテ若シアリセ

ハ相當期間駐留セル他部隊ノ犯セシモノト謂フク被告ノ

部下ハ常ニ被告ノ要求セル軍紀風紀嚴正ナリトモ他
部隊モ能ク之ヲ知ル所ナリキ 故ニ此支ニ於ケル掠奪
婦女暴行ハ共ニ確固タル證據ナキ限り被告ノ部下ノ行
動ヲラサルヲ断言ス

第三南京ニ於ケル中華門内外ノ殺人、強姦、財産破壊
ニ関スル事項ノ申辨

南京戰ニ被告ノ率ユル第六師團ノ短小ナル駐留
期間被告ハ起訴書ニ提示セラレアル如キ多數ノ殺
人強姦、財産破壊事項ガ中華門内外ニ行ハレ
タリトハ一切之ヲ知ラス又被告ノ部下ガ此暴行ヲ行
ヒモト信スルヲ得ズ左ニ當時ニ於ケル被告ノ部隊ノ
情況及ビ他部隊トノ關係其他詳細ノ説明ヲ行ヒ
被告ノ部下ノ行為ニ非ル理由ヲ明瞭ナラシムヘシ

① 殺人、強姦ノ對象無シ——南京陷落豫想セラ

二強姦

場所

被害者氏名

事件ノ内容

證人

答辯重點

洲行

[Redacted]

強姦

[Redacted]

婦人ニ居ラス
居ツテハ性未共ニ因監視ス
アリ得ス

虹橋

[Redacted] 等四名

強姦輪姦

[Redacted]

泥塘

[Redacted] 等
十数名

強姦輪姦

[Redacted]

免巷

[Redacted]

[Redacted]

洲圩

[Redacted] 等

強姦

[Redacted]

虹橋

[Redacted] 等

強姦

[Redacted]

免巷

[Redacted] 等
四十余人

強姦
輪姦

[Redacted]

德門

[Redacted]

[Redacted]

京等
天台

[Redacted]

暴力ニテ探ミ求メテ
肉体慰安ノ具ニ供ス

[Redacted] 等
法廷ニ陳述
(書證乙)

行軍途中アリ得ス

軍途中

[Redacted]

[Redacted]

三、財產破壊

法務省

川記ノ地帯

[Redacted] 等

十数戸

[Redacted]

長樂路

[Redacted]

十数戸

[Redacted]

草門

[Redacted]

家屋財產破壊

被害者陳述及
実地ノ調査
(書證丙)

長樂路ノ東長樂路ノ
家屋ノ共ニ後修理済ニ未解決ノ
事ヲハ政府損害賠償ス
財產ハ如何ナルニカ 按宿ニ當リ
注意シアリ又柳川軍ニ引繼ク

傅舟街

[Redacted]

[Redacted]

損害解決済ニ未解決ナラハ
部隊ナラストモ今日之國家ノ損
害賠償スヘシ